

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品等の名称	クリッパーブレード用潤滑油
製品コード	CNM-OIL
供給者の会社名	株式会社 アースミライ
住所	福岡県福岡市中央区今川2-3-54
電話番号	092-753-7886
推奨用途及び使用上の制限	クリッパーブレード用潤滑油

2. 危険有害性の要約

GHS分類	
物理化学的危険性	全項目が分類対象外もしくはデータ不足による分類不可
健康に対する有害性	(事業者向けGHS分類ガイダンス (令和元年度改訂版 (Ver2.1)) を使用)
環境に対する有害性	

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	単一製品
化学名又は一般名	白色鉱油 (石油)
別名	White mineral oil, Paraffin oil
濃度又は濃度範囲	95-99.9%
CAS登録番号 (CAS RN)	8042-47-5
分子式 (分子量)	非開示
化学特性 (示性式又は構造式)	非開示
官報公示整理番号 (化審法)	特定不可
官報公示整理番号 (安衛法)	特定不可
化管法指定化学物質の種別	対象外

4. 応急措置

皮膚に付着した場合	水と石けんで十分に洗うこと。
眼に入った場合	清浄な水で十分洗浄し、直ちに医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合	無理に吐かずに直ちに医師の診断を受けること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	飲むと下痢、嘔吐する可能性がある。眼や皮膚に触れると炎症を起こす可能性がある。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	炭酸ガス、泡消火剤
使ってはならない消火剤	データなし
火災時の特有の危険有害性	燃焼すると、一酸化炭素などの有毒なガスを生成するおそれがある。
特有の消火方法	着火源を除去し、消火剤を用いて空気を遮断する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	適切な空気呼吸器、防護服 (耐熱性) を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	保護眼鏡や保護手袋を使用する。
環境に対する注意事項	廃油が下水に流れないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	土砂などの吸収材を使用して回収し処理する。残った油を洗剤と水で洗う。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
安全取扱い注意事項	乳幼児の手の届かない場所に保管する。

接触回避	保護眼鏡や保護手袋を使用する。
衛生対策	取扱い後は手をよく洗う。
保管	
安全な保管条件	直射日光を避け、湿気の少ない涼しい場所に容器を立てて保管する。
安全な容器包装材料	密閉式の破損しないものに入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	未設定
許容濃度	
日本産衛学会	3mg/m ³ (鉱油ミストとして)
ACGIH(TLV-TWA)	5mg/m ³ (鉱油ミストとして)
ACGIH(TLV-STEL)	10mg/m ³ (鉱油ミストとして)
設備対策	換気を心がけること。
保護具	
呼吸用保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を使用すること。
眼、顔面の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じて適切な保護衣、保護面を使用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	
物理状态	液体
色	無色透明
臭い	わずかに臭いがする
融点・凝固点	-20℃
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限及び爆発上限界／可燃限界	データなし
引火点	>300℃
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	水に不溶
n-オクタノール／水分配係数 (log値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	0.877(水=1)
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	データなし
化学的安定性	安定している
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	エタノール、プロパノール
危険有害な分解生成物	燃焼すると、一酸化炭素などの有毒なガスを生成するおそれがある。

11. 有害性情報

急性毒性	なし
皮膚腐食性／刺激性、皮膚感作性	長期間の皮膚接触により、少数の人にアレルギーの可能性あり ※可能性が約1%と少数なことから、GHSの区分に該当しないとした。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	データなし
呼吸器感作性	データなし
生殖細胞変異原性	なし
発がん性	なし

生殖毒性・授乳影響	なし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	データなし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	データなし
誤えん有害性	液体を飲み込むと、肺に吸い込んで化学性肺炎を起こすことがある。 （国際化学物質安全性カード（ICSC）「流動パラフィン」を参照） ※動粘性率の正確なデータ不足により、GHS分類不可とした。

12. 環境影響情報

生態毒性	なし
残留性・分解性	分解性あり
生態蓄積性	なし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物、汚染容器及び包装	地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
----------------	-----------------------

14. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号	非該当
国内規制	
海上規制情報	海洋汚染防止法 船舶からの油の排出の禁止（法第四条） 船舶安全法 非該当
航空規制情報	航空法 非該当
陸上規制情報	消防法 指定可燃物 可燃性液体類（数量2立方メートル）
特別な安全上の対策	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にすること。

15. 適用法令

労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
化審法	非該当
消防法	指定可燃物 可燃性液体類

16. その他の情報

引用文献及び参考文献	原材料メーカー発行SDS 経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス（令和元年度改訂版（Ver2.1）） NITE 化学物質総合情報提供システム 国際化学物質安全性カード（ICSC）日本語版 厚生労働省 職場のあんぜんサイト 厚生労働省 附属書4安全データシート（SDS）作成指針 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告（2023年度） JIS Z7253:2019
------------	--

本SDSの記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、全ての資料、文献を調査しているわけではないため、情報漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の改訂等により内容に変更が生じることがあります。

記載された情報は、情報の完全さ・正確さを保証するものではありません。

危険・有害性の評価は必ずしも十分でないので、取扱いには十分注意して下さい。